

平成 22 年 (2010 年) 研究業績

学術論文(英文)

1. Yoshida, Y., Ito, S., Kamo, M., Kezuka, Y., Tamura, H., Kunimatsu, K., Kato, H.
Production of hydrogen sulfide by two enzymes associated with biosynthesis of homocysteine and lanthionine in *Fusobacterium nucleatum* subsp. *nucleatum* ATCC 25586.
Microbiology. 156(Pt 7):2260-9 (2010)
2. Yoshida, Y., Ito, S., Tamura, H., Kunimatsu, K.
Use of a novel assay to evaluate enzymes that produce hydrogen sulfide in *Fusobacterium nucleatum*.
J Microbiol Methods. 80(3):313-5 (2010)

学術論文(和文)

1. 千田正子, 三上尚子, 金澤智美, 國松和司, 水城まさみ
障害者病棟における肺炎防止に重点をおいた口腔ケア
日本口腔ケア学会誌. 4(1):31-35 (2010)
2. 藤原英明, 八重柏隆, 畠山節子, 武田泰典, 石平洋二, 國松和司
IL-6 が培養歯髓由来細胞の FGF-2 発現に与える影響
日本歯科保存学雑誌. 53(2):207-213 (2010)

学会発表

【国際学会】

1. Ando, Y., Fujimura, A., Murai, O., Yaegashi, T., Nozaka, Y., Kunimatsu, K.
Lymphatic architecture of human gingival –free gingiva–.
The 96th Annual Meeting of AAP in collaboration with JSP, Oct. Honolulu, USA
2. Suwabe, K., Yoshida, Y., Sasaki, D., Yoshimura, F., Kunimatsu, K.
Identification and characterization of novel enzymes associated with hydrogen sulfide production in *Fusobacterium nucleatum*
50th Anniversary, General Session and International Congress of the KAP. Nov. Seoul, Korea

【国内学会(全国)】

1. 須和部京介, 吉田康夫, 伊東俊太郎, 田村晴希, 國松和司, 加藤裕久
***Fusobacterium nucleatum* においてシステイン合成酵素は硫化水素産生に関与する**
第 83 回日本細菌学会総会. 3 月. 横浜
2. 須和部京介, 吉田康夫, 伊東俊太郎, 國松和司
***Fusobacterium nucleatum* における複数の硫化水素産生酵素**
第 53 回春季日本歯周病学会学術大会. 5 月. 盛岡

3. 伊東俊太郎, 吉田康夫, 須和部京介, 國松和司
カテキンによる揮発性硫化物の抑制効果
第 53 回春季日本歯周病学会学術大会. 5 月. 盛岡
4. 佐々木憲明, 梁川輝行, 八重柏隆
コーンビーム CT により歯周組織の再生を確認できた症例
第 53 回春季日本歯周病学会学術大会. 5 月. 盛岡
5. 川村涼子, 及川弘美, 宇部恵理香, 関根真理子, 攝待友宏, 富樫正幸, 佐々木大輔, 國松和司
短期間で良好な治療効果が得られた症例の要因分析
第 53 回春季日本歯周病学会学術大会. 5 月. 盛岡
6. 荻原聡史, 諏訪渚, 村井治, 金澤智美, 八重柏隆, 國松和司
サルコイドーシスと重症筋無力症を有する歯周炎患者の 1 治療例
日本歯科保存学会 2010 年度春季学術大会(第 132 回). 6 月. 熊本
7. 八重柏隆, 大川義人, 佐々木大輔, 玉木修, 村井治, 國松和司
講義理解度確認試験の有効性
第 53 回秋季日本歯周病学会学術大会. 9 月. 香川
8. 藤原英明, 成石浩司, 澤田俊輔, 伊東俊太郎, 八重柏隆, 國松和司
IL-6 によるヒト歯髓細胞の VEGF 産生誘導
日本歯科保存学会 2010 年度秋季学術大会(第 133 回). 10 月. 岐阜

国内学会主催

1. 第 53 回春季日本歯周病学会学術大会. 5 月. 盛岡